

'08.5

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 岡田奈良夫
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 609 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



Contents

■ 県連合会Letter	2～4頁
・ 平成19年度臨時総会	
・ 第4回事業委員会	
・ 第3回共済事業委員会	
・ 第4回補助金体系検討委員会	
・ 平成20年度補助事業説明会	
・ 次期システム説明会	
・ 青年部正副会長会・常任理事会	
・ 県連合会・岡田専務理事就任	
・ 4月1日付人事異動のお知らせ	
・ 主な事業予定	
■ 商工会Letter	5頁
・ 新商工会誕生(神河町商工会・佐用町商工会)	
・ 意識改革セミナー(三田市商工会)	
・ 女みこし(浜坂町商工会)	
■ 特集 県連合会チーフアドバイザー	6頁

歴史のまちに訪れる春

「出石初午大祭」

出石町商工会

さわやかな春を告げる「出石初午大祭」が、三月十四日～十六日に開催された。

このまつりは、四百余年前に五万八千石の雄藩として栄えた時の城主が、年の初めの午の日に町民に城内の参詣を許したことが始まりとされている。

出石城主により捕らえられた「石川五右衛門」のたたりにより、まつりの日には必ず雨が降ると言われているが、今年は記憶する限り初めて、三日間とも晴天となり、五万人を超す来客が訪れた。

二十年度事業計画スローガン 「都市に負けない地域の再生を目指して」

～平成十九年度臨時総会～

県連合会は、三月二十五日、神戸市内のホテルで平成十九年度「臨時総会」を開催した。

当日は、木南会長挨拶の後、議長に五色町商工会の山本会長を選出し、次の五議案の審議を行った。

- ①兵庫県商工会職員退職金共済規約の一部改正について
- ②平成十九年度収支補正予算設定について
- ③平成二十年度事業計画並びに収支予算設定について
- ④平成二十年度借入金最高限度額の決定について
- ⑤役員の補充選任について



いずれも原案どおり承認され、そのうち①の規約改正においては、職員退職金の支給率引き上げなど四項目の改正が行われた。③の平成二十年度事業計画では、「都市に負けない地域の再生を目指して」をスローガンに掲げ、「地域活力の増進」・「商工会等の組織強化」・「会員サービスの向上」の三つの重点項目に基づき、事業を行っていくことと

商工貯蓄共済等

四議案を審議 ～第三回共済事業委員会～

県連合会は、三月二十日、県商工会館において、「平成十九年度第三回共済事業委員会」を開催した。

主な協議事項は次のとおり。

【第一号議案】

代位弁済の実行

二件、約一百三十万円の代位弁済が承認された。

【第二号議案】

求償債権の回収見込み判定

なった。⑤の役員補充選任では、三月三十一日付で退任する澤田専務理事の後任にひょうご産業活性化センターの岡田理事長を選任し、四月一日付で就任することとなった。なお、任期は前任者残存期間の平成二十一年度通常総会までとなる。

議案審議の終了後、ご臨席いただいた来賓の県産業労働部長の表具喜治氏と県共済理事長の田中正巳氏からそれぞれ祝辞があった。その後引き続き、退任する澤田専務理事の送別会を行った。

各商工会から償却申請のあった求償債権一二四件、一五六百万円に関し、職員による現況調査を踏まえ、九八件、一二八百万円の償却が承認された。

【第三号議案】

貯蓄共済積立金の仮払い制度の導入

平成二十年四月一日から導入することが承認された。

【第四号議案】

近畿府県貯蓄共済合同キャンペーン実施

平成二十年度の当キャンペーンへの提供商品を、各商工会を通じて募集する。

二十年度新事業等 四議案を審議 ～第四回事業委員会～



会地域のバランス等も考慮し、県連が調整。

【第一号議案】

地域商工会振興協議会のエリアの再編等について

二十一年度の県民局再編も考慮し、協議会エリア再編等を今後検討。

【第三号議案】

テーマ別専門研修会支援事業の専門化謝金（時間）単価基準の見直しについて

現在、商工会ごとに講師等謝金単価が異なっているため、当該事業独自の上限金額を設定し、是正する。

【第四号議案】

記帳機械化事業の推進について。ネットde記帳導入に伴う記帳機械化手数料の改正を一部継続審議とする。資格取得の促進については、職員協議会との調整は必要としたものの、原案どおり承認された。

主な行事予定

5月のいよみ

- 1日（木）～2日（金） 商工会新任事務局長研修会（神戸市）
- 8日（木） 県青連通常総会
- 9日（金） 第一回正副会長会
- 12日（月） 県女性連幹部講習会・通常総会
- 14日（水） 第一回理事会
- 29日（木） 第四十七回通常総会（神戸市・六甲荘）

6月のいよみ

- 2日（月）～6日（金） ネットde記帳操作説明会
- 23日（月） 商工会基礎研修会（福岡市）
- 27日（金） 第一回総務委員会・第二回正副会長会

より一層の情報化を推進

次期システム説明会

県連合会は、今年度ホストコンピュータの更新を迎えるにあたり、三月二十六日（福崎町商工会館）、二十七日（養父市商工会館）の両日、導入システムについての説明会を開催した。説明会には商工会事務局長等約八十名が出席した。

入に当たっての基本的方針及び情報化のあり方についての講演を行った。その後、導入システムのそれぞれの開発事業者より①Net de 記帳の概要②グループウェアの概要について、また、県連合会よりシステム切り替えに伴う説明が行なわれた。

合併商工会に対する

支援拡充要望案等を検討

第四回補助金体系検討委員会

県連合会は、三月二十一日、県商工会館において、「第四回補助金体系検討委員会」を開催した。

県連合会は、三月二十一日、二、地域経済活性化支援費補助金の申請方法等について三、商工会職員の県連帰属化について

主要内容は、平成二十一年度の県予算要望に向けて、合併商工会に対する支援の拡充、補助

「情報化ビジョン検討委員会」の委員長である、兵庫県立大学教授・井内氏より、システム導

協議事項は次のとおり。一、補助対象職員の新設置基準等に係る要望（案）について

商工会、県連、商工会議所のほか中小企業団体中央会や地方銀行等金融機関、大学なども対象となる。一拠点あたりの事業費の上限額は四千万。

小規模企業への支援強化を目指して

二十年度補助事業説明会

県連合会は、三月十九日、福崎町商工会館において「平成二十年度補助事業の実施に係る説明会」を開催した。

現在、商工会に対する従来の箇所付け事業のほとんどは、県連を経由しての助成事業や共催

事業にシフトし、要望も県連で受け付けているため、来年度補助事業の内容と申請スケジュール等の説明を行った。ちなみに二十年度から「商工会グループ等との共催事業」がなくなり、「地域力連携拠点事業」と「労働環境対策事業」が新規に加わる。このうち前者は、小規模企業等に対する経営力の向上や創業・再チャレンジ、また事業承継等を支援するもので

また後者は、中小企業の人材確保と職場定着の促進を図るためのもので、労働関係諸制度に係る研修や健康づくり、地域子育て支援などの事業が対象となっている。

四月一日付職員の異動

【新規】

経営支援課主事 新井智絵
但馬支所主事 丸岡史宏
総務課主事 小藪伊久味
合併組織運営アドバイザー 三方芳明
(但馬支所駐在)
金融担当アドバイザー 西村裕志
(現 業務推進課参事と兼務)

【転入】

但馬支所長 谷垣忠之（養父市から）

【転出】

但馬副支所長 高橋昌己（養父市へ）

【出向】

組織支援課長 小村崎栄一
(黒田庄町商工会支援 週3日程度)

【退職】

高橋克己
川本友美
山本雄三(期間満了)



—中小企業と共に45年—

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号（県立産業会館内）

☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

こだわりの スイーツ店を紹介!!

県下各地域で、地元の素材を活かし、こだわりの味を求め頑張っているスイーツ店を紹介するガイドブックが完成。



あの店、この店のご自慢の逸品をぜひご覧ください。

本誌は、姫路で開催される「菓子博覧会」会場と、県下商工会にて配布。また、五月中旬以降、本会HP (<http://www.shokoren.or.jp/>) にも掲載予定。

詳細についての問合せは、
本会経営支援課まで
TEL(078)371-1362

県商工会青年部連合会（森本匡俊会長）は、三月十日に兵庫県商工会館（神戸市）で正副会長・常任理事会を開催した。第四十一回通常総会、第一回幹部講習会、平成二十年度事業概要、会費収入、収支予算（案）、について協議し原案通り承認された。

第一回幹部講習会については、今回は例年の講演会ではなく、県青連組織運営会議として県内

部長会を開催し、今年度大幅な見直しを行なった若手後継者等育成事業、地域活力増進事業等の取り組みについて過去の事例発表を含め、意見交換を行なう事とした。また、今年度より新規事業となる労働環境対策事業の取り組みについても意見交換を行い、意見を集約したうえで今後の事業実施の方向性を見出すこととした。

青年部正副会長・常任理事会開催



同氏は、関西大学法学部卒業。兵庫県職員として、教育次長、東播磨県民局長、部長（財ひょうご産業活性化センター理事長）を歴任された。

県商工会連合会専務理事に 岡田奈良夫氏が就任

県連合会の専務理事に岡田奈良夫氏が四月一日就任した。

平成20年度「ひょうご21世紀産業創造戦略」補助制度の募集

次世代成長産業をはじめとした、21世紀のひょうご経済を支えるリーディング産業創出を目指し、研究開発支援制度を実施します。

新技術・サービス創造資金貸付（無利子）

【募集期間】平成20年4月21日(月)～5月16日(金)

(1)産学連携・事業連携

貸付対象者 産学連携または事業連携により実用化開発を行おうとする企業等

対象分野 健康、生活文化、情報通信、環境・エネルギー、ナノテクノロジー・新製造技術・新素材、輸送・物流、ビジネスサポート、防災・安全

貸付限度額 50,000千円（単年度25,000千円）

(2)単独企業（ものづくり・IT）

貸付対象者 産学連携または事業連携により実用化開発を行おうとする企業等

対象分野 (1)対象分野と同様 貸付限度額 10,000千円

(3)生活・サービス産業

貸付対象者 生活・サービス産業における新規性・独創性のある新規事業開発に取り組む中小企業者等

対象分野 医療・福祉、生活文化、環境・エネルギー、輸送・物流、ビジネスサポート、防災・安全

貸付限度額 2,000千円

なお、下記貸付条件は全ての事業者に通ず。

対象経費 ◇試作段階までの新製品・新技術の研究開発及び新サービスの実証に必要な経費

◇マーケティング調査、販路開拓事業

貸付率 対象経費の70%以内

貸付期間等 10年以内・3年据置、半年賦償還

担保・保証人 原則として担保不要、連帯保証人必要

〔提出・問合せ先〕 財ひょうご活性化センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1

TEL 078-230-8110

「神河町商工会」「佐用町商工会」誕生



佐用町商工会

【所在地】

〒679-5300 佐用郡佐用町佐用3043-1

【電話番号】

本 所 0790-82-2218

佐用支所 0790-82-2218

上月支所 0790-86-0335

南光支所 0790-78-1241

三日月支所 0790-79-2053

【新会長名】 井口 進

【会員数】 670名

【新商工会の抱負】（目標）企業支援機能の強化、商工会会員のネットワーク強化、新産業創出事業に積極的に取り組んでいきたい。そして、役員が一体となって日々自己研鑽につとめ、常に

プラス思考で新しい商工会づくりを目指す。



神河町商工会

4月1日辞令交付式

【所在地・電話番号等】

（本所）〒679-2413 神崎郡神河町中村29

電 話 0790-32-0295

FAX 0790-32-2355

（大河内支所）〒679-3166

神崎郡神河町寺前218-1

電 話 0790-34-0641

FAX 0790-34-0771

【新会長名】 谷忍忍孝

【会員数】 435名

【新商工会の抱負】 現状の厳しい経済環境を生き抜くために自助努力を

強化する。会員ニーズに沿った事業展開が出来る組織体制と財政基盤の確立を図る。小規模ながら地域唯一の経済団体としての役割を果たしたい。

意識改革で

組織を活性化

～三田市商工会～



三田市商工会は三月十八日、工業部会主催の「第六回意識改革セミナー」を開催した。講師に今井 正氏を迎え、コミュニケーションの必要性和重要性について再認識することを目的として経営者層を中心に十五名が参加した。今井氏は、トップダウンの経営もボトムアップの経営もそれぞれの良いところが活かされず、組織停滞の原因となっている企業も少なくない。それを見直し、組織全体の活性化を図ることを組織改革だけでなく意識も改革し、モチベーションを維持しながら経営者と従業員が一体となって取り組む必要性を説かれた。

「女みこし」で

菓子博に二役

～浜坂町商工会～



四月十八日からの「姫路菓子博2008」開催を前にした同月六日、豊岡市三宅にある中嶋神社を神輿が出発した。同神社は「菓祖・菓子の神」として知られ、日本各地に分社がある。神戸、明石、加古川を巡行した後、十六日には姫路市内に入り、菓子博の成功を祈願する。ちなみに、この神輿を担いだのは浜坂町商工会「女みこし」のメンバー。新温泉町内の祭りやイベント等を盛り上げるため、商工会員の子女などが参加している。そうした試みが、菓子博の盛り上げに一役買うことになった。

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。



イベントキャラクター「ホッピー」

ご融資の相談は
お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずね下さい。



いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
http://www.hyogokenshin.co.jp/

住友生命

貯めて、使える。

保険を超える保険

LIVE ONE

スミセイ総合生活口座 | ライブワン |

がんばる企業をサポートします。是非ご利用ください。



前田 欣也（主任チーフアドバイザー）

【主な資格等】

社会保険労務士・行政書士

【専門分野】

「経営」と「人事労務」にかかわる法律が私の専門分野です。「ひと」を大切に、これが法の基本精神であり、私の基本でもあります。

- ・契約書作成や債権回収などの各種法律相談
 - ・事業にかかわる許認可や助成金
 - ・人事労務管理・就業規則の作成
- など、幅広く対応しています。

【メッセージ】

「親切・ていねい」なお客様への対応、これが私の信条です。お困りごとはありませんか？

「きちんとした契約書を作ってトラブルを減らしたい」「役所の手続きがよくわからない」「従業員にいきいきと働いてもらうにはどうしたらいいだろう？」お悩みに親切・ていねいにお応えしています。それが私の役割です。



宇田 名保美

【主な資格等】

中小企業診断士、
ITコーディネーター、
販売士1級

【専門分野】

創業・新事業開発、経営革新、情報化戦略策定（WEBサイト改善、インターネットショップ開設・運営等含む）、各種コンサルティングサービスやセミナー・研修企画が専門分野です。

（URL:<http://www.uda-kobe.co.jp>）

【メッセージ】

フレンドリーでわかりやすいご支援を心がけています。インターネットでは新しい技術やサービスが進歩し続けています。コストや人材をかけすぎず、それぞれの事業所にあった「経営改善・新規事業のためのICT（情報通信技術）活用」をご支援します。ホームページのアクセス数をあげたい、インターネットショップの売上を伸ばしたい等のインターネット活用やプライバシーマーク・ISO27001（ISMS）に基づいた仕組みづくり、各種情報保護関連の認証制度取得等をご支援します。会員企業さんのご相談はもちろん、セミナーや研修、コンサルティングサービス等の企画・運営についてもお気軽にご相談ください。

上山 修一

【主な資格等】

中小企業診断士・技術士補（経営工学）
MBA（関西学院大学）

【専門分野】

生産管理（品質管理・原価管理・生産システム）・経営管理（財務管理・労務管理・組織体制構築）・創業支援、が専門分野です。効果的な経営体制の構築・経営革新を進める支援等、の広い視野でアドバイスをしてまいります。

【メッセージ】

創業から経営革新、競争力をもった事業が発展するのも、時代の流れを読むことが、地域企業にとって大切な時代になりました。昨年の県下訪問の経験を活かしながら、地域の実情と時代の流れがマッチできるよう創業段階・成長段階・新規事業展開段階のそれぞれ

の状況に応じた事業者サポートをいたします。製造業が専門ですが、小売・サービス業・その他業種の相談にも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。



西村 裕志

【専門分野】

企業経営にお

ける経営資源は、「人、もの、カネ」

と言われていますが、この中の「カネ」

は、企業経営の血液であり、これが滞ると、企業の発展成長は望むどころか、衰退の道をたどることになります。この「カネ」の分野を永年の中小企業金融に携わってきた経験から担当いたします。

【メッセージ】

資金の調達手段は、たくさんありますが、中小企業にとって資金の調達手段は、やはり間接金融、金融機関からの借入に頼らざるを得ないところがあります。この金融を上手く活用してこそ企業の発展成長が望めます。この金融をスムーズに活用する方法をアドバイスできればと考えています。



三方 芳明

（合併・組織運営アドバイザー）
但馬支所駐在

【専門分野】

平成の大合併に伴い、商工会の合併協議が進展しております。私自身特にこれといった専門的知識があるわけではありませんが、商工会合併に携わった一人として、その経験をもってお手伝いできればと思っています。

【メッセージ】

商工会の合併は、合併による商工会の将来像を明確にして、会員企業の理解を得ることが大切です。「合併は改革のチャンス」であり、何事も節目が大きな変革期ではないでしょうか。商工会は廃業等による会員数の減少や行財政改革により厳しい現況にありますが、議論をしつつ明確な組織運営が求められています。その意味で、合併はその地域の特性を規模拡大による組織力で進展させるところに意義があります。皆様と同じ目線でお手伝いさせていただきます。